



新年のごあいさつ



担当理事 牛尾剛士

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかな新春を迎えられたことと存じます。

昨年は医療崩壊の激しい波に医療界が翻弄された年でした。また4月より開始された特定健診も先生方に多大なご迷惑をおかけしましたが、なんとか請求までできるようになり、今後は次のステップとして入力の手軽化等に取り組んでいくように計画しております。

今年も依然として当検査センターでは厳しい状況ながら、継続して品質とコストとのバランスを考慮した内部改善に取り組んでまいります。この一環として、今年は検査基幹システムの更新を予定しております。さらに人材育成や情報伝達を考慮した検査科のリーダー制導入の推進、精度保証室の充実、検査の標準化とコスト管理をマネジメントできる体制の構築と検証を進めてまいります。さらに4月より所内にリスクマネジメント委員会を設立し、所員一丸となって安全管理の徹底をはかって行くこととしております。

会員の先生方へは、引き続き迅速な検査結果報告が可能なカルテ情報ファイリングシステム Doctor's Desk Light（通称 DDLight）の展開等を通じて、IT化支援を積極的に行っておりますが、今後は DDLight だけではなく日レセ活用ツールの WOLF の導入支援等も考慮し、目下検討しているところです。

学術情報部門では、『インフォメーション（感染症情報/感染性胃腸炎出検状況 etc.）』発刊や医療機関向け勉強会（“出前勉強会”）の実施などを通して、会員の先生方のご要望に応えられるようにさらに内容を充実してまいります。

精度管理やサービスのよりいっそうの充実により他の検査センターとの差別化を図り、会員の先生方に安心、安全をお届けできることをモットーとし、先生方に当検査センターを選択していただけるよう努力を重ねてまいります。ご意見やご希望等ありましたらご遠慮なくお申し付けください。

本年もどうかお引き立ていただきますよう、よろしく願い申し上げます。